

令和 8 年 3 月
一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会

日時：令和 8 年 3 月 7 日（土） 15：00～18：00

場所：ハービス PLAZA 5 階 会議室（第 8、9、10）

出席者 38 名（敬称略）

<会長> 貴島 浩二 <副会長> 白木 隆士 木下 裕介 堀口 泰輔 河崎美也子 宮崎 浩
<理事> 明石 健一 重栖 孝 榎本 誠 片岡英一郎 岸本 英樹 清水 広太 史 賢林
神藤 佳孝 調子 和則 中川 浩彰 中野 晋吾 橋本 和喜 長谷川利雄 濱田 泰彦
葉山 悦伸 藤本 啓治 邊見 俊一 増田 博 水沢 慶一 宮口 正継 宮田 重樹
村上 仁志 山口 眞一 山本 善哉 吉田 清志 吉川 尚孝 吉村 弘治 和田 孝彦

<特別出席者> 無し

<監事> 黒田 晃司 前中 孝文 <オブザーバー> 右近 良治 山本 哲

定刻になり出席者数が定数を満たすことを確認し、令和 8 年 3 月理事会が開始された

[協議事項]

1、令和 7 年 12 月 OCOA 議事録承認

中野理事

提出された議事録を確認し、承認された

2、第 50 回 OCOA 定時総会 確認事項

中野理事

定款の改定が無いので、会員数の 1／2 以上の参加人数が必要

総会にて、以下の先生を選出予定

（議事録署名人）橋本 和喜 先生、吉田 清志 先生 承認された

3、令和 8～9 年度 OCOA 組織表 （以下敬称略）

貴島会長

執行部 会長候補 白木隆士 会長代行 木下裕介

副会長 史 賢林 堀口泰輔 宮崎 浩 河崎美也子

新理事の選任 葉山悦伸（令和 7 年度に就任） 藤原憲太

監事、議長、裁定委員の選任 副議長 増田 博

JCOA IT 戦略委員会 葉山悦伸（白木隆士 退任）

大阪府医師会 健康スポーツ医学委員会 横井裕之（小林正之 退任）

【8～9 年度委員会】各委員会の所属予定委員名が示された

※ 定例理事会で担当議事録委員の欠席が目立つので、理事会毎に次回担当委員名を伝えること。

OCO A 総務委員会（資料作成委員、議事録委員、レジメ委員会）の世代交代が望ましい

承認された

4、令和 7 年決算 令和 8 年予算 堀口副会長

令和 7 年度決算、令和 8 年度予算案の貸借対照表・正味財産増減計算書・附属明細書・財産目録の説明があり、前中孝文監事から適正に処理されており監査されたと報告があった。

令和7年度決算では、当期一般正味財産増減額は1,379,554円増

経常収益は昨年度より384,441円増（研修会収益・広告収入が減ったが、会費値上げによる）

経常費用は昨年度より995,113円減（会報PDF化、会員数減少でJCOAへの支払い減による）

令和8年度予算案では、

収入予定26,918,000円、支出予定25,506,364円が計上され、経常収支増減額予定1,411,636円

収益予定にJOA100周年プロジェクトで130万円（広告収入80万+JOAより50万協賛）、産業医研修会で60万円が計上されている。

支出予定にJOA100周年プロジェクト関連費用100万円および繰越金140万円、OCA50周年引当金185万円が計上されている。

承認された

5、日医（府医）生涯教育研修単位の審査手数料有料化について

宮崎副会長

日医（府医）審査手数料が令和8年6月以降の研修会ごとに府医に16,500円支払う話が出ており、その際の対応案として、これまで無料だった生涯教育研修単位2単位申請料を
会員：1000円、非会員：2,000円を徴収する案が示され、今後の動向を確認することとなった。

承認された

6、研修会実施予定

宮崎副会長

第381回大阪臨床整形外科医会研修会（令和8年4月18日 梅田スカイビル タワー ウェスト36階）

共催 大正製薬 16:00～ 受付 越宗 勝 先生 大窪 博 先生 司会 竹口輝彦 先生

講演Ⅰ：「関節リウマチ治療の進歩と今後の展望

～30年の歩みから読み解く治療の現在地とこれから～」

座長：片岡英一郎 先生

講師：大阪南医療センター 特命副院長、臨床研究部長、免疫疾患センター部長 大島至朗先生

日整会 N1、6、R（リウマチ医） 日医 CC73（慢性疾患・複合疾患の管理）（申請中）

日本リウマチ学会（1単位） 日本リウマチ財団（1単位）

講演Ⅱ：「大阪府医師会における医事紛争 ～開業医での事例を中心に～」

座長 堀口泰輔 先生

講師：森下整形外科・リウマチ科 森下 忍先生

日整会 N14-5、日医 CC6（医療制度と法律）（申請中）

日本リウマチ学会（1単位） 日本リウマチ財団（1単位）

日本リハビリテーション医学会（専門医1単位 認定臨床医10単位）

第382回大阪臨床整形外科医会研修会（令和8年5月9日 梅田スカイビル タワー イースト33階）

共催 エーザイ 16:00～ 受付 岸本英樹 先生 和田孝彦 先生 司会 史 賢林 先生

講演Ⅰ：「RA診療における関節エコーの実践的活用とメトトレキサート皮下注製剤の臨的意義」

座長：吉田清志 先生

講師：大阪公立大学大学院医学系研究科

高齢者運動器変性疾患制御寄附講座 特任教授 岡野匡志先生

日整会 N1、6、R（リウマチ医）（申請中）

日医 CC73（慢性疾患・複合疾患の管理）（申請予定） 日本リウマチ学会（1単位）（申請中）

日本リハビリテーション医学会（専門医1単位 認定臨床医10単位）（申請中）

講演Ⅱ：「社会保険診療について -レセプト審査の流れ-」

座長：宮口正継 先生

講師：医療法人 友隣会 友隣会メディカルケアクリニック 整形外科 河井 秀夫 先生

日整会 N14-5（申請中） 日医 CC6（申請予定） 日本リウマチ学会（1単位）（申請中）

第383回大阪臨床整形外科医会研修会（令和8年7月25日 アーバンネット御堂筋3階ホール）

共催 旭化成ファーマ 16:00～ 受付 中塚映政 先生 片岡英一郎 先生 司会 葉山悦伸 先生

講演Ⅰ：「未定」 座長：橋本和喜 先生 講師：未定

講演Ⅱ：「脊椎関連（予定）」 座長 濱田泰彦 先生

講師：近畿大学病院 整形外科 医学部講師 石濱 嘉紘 先生

第384回大阪臨床整形外科医会研修会（令和8年8月22日（会場未定））

共催 アステラス製薬、アムジェン 16:00～

受付 中塚映政先生 水沢慶一先生 司会 葉山悦伸先生

講演Ⅰ 演題名：「未定」 座長：橋本和喜先生 講師：未定

講演Ⅱ 演題名：「未定」 座長：濱田泰彦先生 講師：未定

第385回大阪臨床整形外科医会研修会

（令和8年9月26日 T K P ガーデンシティ PREMIUM 大阪梅田新道）共催 第一三共 16:00～）

受付 明石健一 先生 清水広太 先生 司会 吉川尚孝 先生

講演Ⅰ：「未定」 座長：大窪 博 先生

講師：関西医科大学 救急医学講座 整形外科派遣医 助教 矢倉拓磨 先生

講演Ⅱ：「未定」 座長 和田 孝彦 先生

講師：名古屋大学大学院医学系研究科

総合医学専攻運動・携帯外科学講座 整形外科学/リウマチ学 教授 今釜 史郎 先生

第386回大阪臨床整形外科医会研修会

（令和8年10月17日 ガーデンシティ PREMIUM 大阪梅田新道）共催 帝人ヘルスケア 16:00～）

受付 村上仁志 先生 山本善哉 先生 司会 中野晋吾 先生

講演Ⅰ：「未定」 座長：重栖 孝 先生 講師：未定

講演Ⅱ：「未定」 座長：河崎美也子 先生 講師：未定

第2回大阪臨床整形外科医会産業医研修会

（令和9年1月23日 対面開催 現地会場：大阪府医師協同組合 会議室 8階大ホール）

共催なし 15:30～ 受付 橋本和喜 先生 宮崎 浩 先生 司会 木下裕介 先生

講演Ⅰ：「未定」 座長：越宗 勝 先生

講師：医療法人泉友会 熊野クリニック 熊野文雄先生（予定）

講演Ⅱ：「未定」 座長 調子和則 先生

講師：南海電鉄 産業医 脇岡 泰三 先生（予定）

第386回大阪臨床整形外科医会研修会（令和9年2月13日 シティプラザ大阪）

共催 久光製薬 16:00～ 受付 山口眞一 先生 吉田清志 先生 司会 岸本英樹 先生

講演Ⅰ「未定」 座長：葉山悦伸 先生

講師：社会医療法人 愛仁会 井上病院 副院長 佐藤 宗彦（佐藤 宗彦）先生
講演Ⅱ 演題名：「未定」 座長 榎本 誠 先生 講師：未定
承認された

7、令和8年度大阪府医師会医学運営委員会 講演依頼

藤本理事

大阪府医師会学術講演会世話人の森泰壽委員から、府医学術講演会「医学の進歩シリーズ」（2027年1月28日開催予定）の演者推薦依頼があり、[OCOA 学術委員の史理事が対応することで、承認された](#)

8、その他

OCOA 退会届の書式整備作成について

白木副会長

退会届が OCOA を経ずに JCOA に直接提出されるケースがあり、JCOA 年会費が前年度の2月に一括引去りのため返金するケースが考えられる。退会日が分かりやすい書式に改訂した OCOA（JCOA）退会届を提出いただき OCOA（JCOA）の退会とすること、が協議のうえ[承認された](#)。

[報告事項]

1、会員動態（前回の理事会以降）

白木副会長

令和8年(2026年)2月28日現在 会員動態 報告

前回理事会 令和7年12月6日（正会員455名）以降 新入会 0名(内正会員 0名)

前回理事会 令和7年12月6日以降 退会 5名(内正会員 5名)

杉山 友悦 先生 令和7年12月15日 退会

小嶋 博司 先生 令和7年12月1日 退会

楯 憲一郎 先生 令和8年2月25日 退会

中谷 晃之 先生 令和8年2月27日 退会

和田 健志 先生 令和8年2月27日 退会

令和8年2月28日現在

正会員 450名 特別会員 6名（うち3名がJCOA 名誉会員） 顧問(現役教授) 6名

特別顧問 1名 茂松 日医副会長(正会員に含む) 名誉会員(元教授等) 9名

合計 471名 (JCOA 名誉会員が計6名)

JCOA 正会員は 448名

OCOA 正会員 450名－1名(不明の先生)＋OCOA 特別会員 5名 ＝454名 －JCOA 名誉会員 6名

2、療法士会令和7年度出納帳・療法士会実績

木下副会長

令和7年度出納帳が説明され、収入 279,000 円、支出 324,763 円、助成金残高 221,481 円であった。

会員数は 63 名（平成 23 年発足当時は 105 名）で会費未納者が 6 名。

OCOA 療法士会勉強会は 4 回開催され、延べ参加者数は 72 名。医師会員との勉強会など検討する。

3、日整会 100 周年記念 全国市民公開講座進捗状況

木下副会長

令和 7 年 10 月 5 日から 18 社に協賛をお願いしているが、年度替わりもあり現在は 3 社の協賛のみ。
JOA より啓発ポスターが送られている。
OCAO からのポスター・パンフレットは令和 8 年 9 月に配布する。

4、令和 8 年度大阪府医師会医学運営委員会 講演依頼

藤本理事

OCAO 学術委員の史理事が対応する

5、第 16 回ホームページ管理委員会 2/16 WEB

宮口理事

出席者： 宮口、明石、邊見、和田、木下、宮崎、白木、牧元（アドバイザー）

協議事項：

HP 内掲示物の修正やアップデートについて

医師・会員のみなさまへの活動内容に、骨と関節の日の行事の内容更新

研修会案内に日時・会場の決定している研修会を掲載予定

会員の部屋に令和 4 年度 社会保険診療報酬改定情報の内容更新予定

バナー広告に関して現在 6 枠すべて掲載。更新のお知らせをメールで送付済。請求書を送付予定。

入会員の紹介コーナー に「はせがわ整形外科運動器エコークリニック（平野区）」を新規掲載予定。

報告事項：

ホームページアクセス状況について 12 月 4415 件、1 月 5066 件と増加傾向にある

※ 会員医療機関の検索の更新が必要

6、リクルート委員会活動報告

邊見理事

3 名の新規入会者有り

令和 8 年 4 月以降に大阪医科薬科大学医局より 2 名、関西医大医局より 1 名が入会の予定。

7、広報委員会

調子理事

1. 来年度の会報誌（第 52 号） 原稿の締め切りは、令和 8 年 4 月 30 日

1) 巻頭言（白木先生） 2) 会長退任挨拶（貴島先生）

3) 第 38 回日本臨床整形外科学会学術集会 三重（調子）

4) 第 51 回研修会報告 香川

5) 研修会報告第 375 回～380 回、第 1 回産業医研修会 の原稿は順調に投稿されている。

7) OCAO 活動報告

ロコモ健康フォーラム（木下先生） 療法士会報告（中川先生、木下先生）

大阪マラソン出務報告（大窪先生） トライアスロン出務報告（水沢先生？）

各務文献法要報告（中野先生）

8) 新理事自己紹介を所属の大学医局担当者から投稿をお願いしていただきたい

9) 厚生部報告 OCAO ゴルフコンペ報告（片岡先生）

10) 会員投稿 医学史探訪⑩（今井秀先生） 第 52 号で投稿は終了となる

2. 50 周年記念祝賀会スライドショー

5 分 60 枚の写真を予定で 40 周年記念以降の画像提供の件

2018（平成 20 年）以降の主なイベントと撮影年月日

3. 50 周年記念誌の件

OCA 会報 53 号を合併号とする。目次は広報委員会で相談して決める。

8、大阪整形外科セミナー

3/21・大阪

山口理事

第 70 回大阪整形外科セミナー 令和 8 年 3 月 21 日 15:00 TKP 大阪淀屋橋カンファレンスセンター

「SL 靱帯損傷を伴う DRUJ 掌側脱臼の 1 例」 大阪赤十字病院 山内健志郎 先生

「一般医に悪性軟部腫瘍を示唆する所見は認知されているのか？」

大阪市立総合医療センター 星 学 先生

「大腿骨遠位端骨折の再手術例の検討」 堺市立総合医療センター 亀山 貞 先生

特別講演 「骨粗鬆症脊椎に対する治療戦略」 関西医科大学 石原 政幸 先生

9、OCA 50 周年記念式典準備委員会

増田理事

2026 年 11 月 28 日 ザ・リッツカールトン大阪にて開催

会費 会員 2 万円、同伴者 1 万円の予定

次第

14 時半から準備 理事全員 できればこの時に記念写真、

15 時半から記念式典 司会は片岡先生

開会の辞 木下副会長

会長挨拶、OCA50 周年の歩み 40 周年以降 白木会長

来賓あいさつ 加納府医会長 長谷川 JCOA 理事長

功労者表彰 前中先生 増田先生 長谷川先生 藤本先生 貴島先生 ほか

閉会の辞 堀口副会長

16 時半から記念講演会 司会 宮口先生 座長 増田先生 謝辞 白木会長

18 時から 宴会 司会はプロに

白木会長挨拶

来賓あいさつ 茂松副会長、長く教授をされている先生（阪大）

来賓紹介 祝電披露、乾杯は年長の教授、余興にオペラ

閉宴の挨拶 宮崎副会長

招待客への案内 JCOA 関係 長谷川理事長

大阪府医師会関係、大阪府の各医会の代表、近畿 COA 代表 貴島会長

各大学の教授であればご夫婦で、各副会長

OCA50 周年の歩み 内容は岸本先生（スライド）、広報の調子先生と相談。発表は白木会長

記念誌 できるだけ安く、会報の特別号 大阪公大 広報委員会

席順 史先生 宮口先生 山本先生 岸本先生 竹口先生と副会長

参加人数 会場の大きさにもよるが 250 人目標 10 年前は 188 人 各大学 25 組目標

何度か 事前アナウンスをする 事前登録を 7 月ごろに

※ 費用には OCA 積立金より 690 万円を計上している

1 0、JCOA 令和 7 年度第 3 回医療安全・倫理委員会

1/22・WEB

片岡理事

委員会決議事項：

電子版「医事紛争事例アーカイブズ」について

次の 3 点を青木航洋理事から同委員会に、本委員会の希望事項として伝えることとした。

- ① キーワード検索したら、タイトル又は該当ページへリンクする。
- ② 各事例は、PDF 形式としてプリントアウトやダウンロード可能とする。
- ③ 今後、JCOA ニュースに掲載される「医事紛争事例に学ぶ」の記事を追加できるようにする。

委員会報告事項：

1. 冊子「医事紛争事例アーカイブズ」について、令和 7 年 11 月 1 日に発行された。
2. 運動器疾患 X 線撮影安全管理指針の改訂について
小児股関節撮影における生殖腺シールドが廃止になっていることに関し、
「臨床整形外科医必携 運動器疾患 X 線撮影安全管理指針」（令和 5 年 4 月 10 日第 2 版）
の記載内容を改訂し、会員に周知した。

1 1、令和 7 年度第 5 回日本臨床整形外科学会理事会

12/7・東京

神藤理事

審議事項

- ・ 令和 8 年度学術賞・学会功労賞・学術奨励賞の選考について
学術賞は兵庫県の井尻慎一郎会員、学会功労賞は福井県の吉村光生会員、学術奨励賞は広島県の
沖本信和会員、が選出され承認された。
- ・ 公務災害の診療に関するアンケート結果報告とお願いについて
- ・ 第 37 回日本運動器科学会学術集会（令和 8 年 7 月 4・5 日）への補助金について
- ・ JCOA 災害医療チーム派遣の際に加入する保険について
神藤理事は、JCOA 災害医療チームが支援活動を行う際に発生し得る事故等に備え、傷害総合保
険に加入したい旨を報告し、承認された。
- ・ 学校スポーツ相談医の調査報告
学校スポーツ相談医の必要性を検討するため、大阪府松原市医師会と大阪臨床整形外科医会が共
同で市内（小学校 15 校・中学校 7 校）の養護教諭 22 名を対象にパイロット調査を実施し、全員か
ら回答を得た。「不必要」と「必要・今後必要」がほぼ拮抗していたが、「現在はないが、今後相談
すると思う」が過半数を占めた。相談したい内容としては、運動器検診結果が最も多く、対面形
式による相談を希望する声が多かった。 今後は、大阪府内の他市や全国での調査を検討し、将来
的には複数校に 1 名程度の学校スポーツ相談医を配置する体制の構築を目指す、その進め方につ
いては慎重かつ段階的に進める方針である。
- ・ 日本医師会 痛みを考えるワーキングチーム（第 1 回）報告（令和 7 年 11 月 13 日）
慢性疼痛をめぐる、慢性の痛み対策議員連盟による議員立法の準備が進められていたことから、
JCOA は問題点等への対応を単独で行ってきたが、行動に限界があるため日医に相談した結果、本
件は日医主導のワーキングチームで対応することとなった。
- ・ 運動器の健康を増進させ健康寿命を延伸させる議員連盟（第 16 回）（令和 7 年 12 月 3 日）
JCOA からは、ロコモ・フレイル指導管理料の新設及び運動器リハビリテーション全体の増点を
要望した。フレイルを含めた全診療科的対策とすることで、高い費用対効果が見込まれる点を強調

した。JCOA は従来、運動器リハビリテーション I の点数を脳血管等疾患リハビリテーション II と同額に引き上げるよう要望してきたが、今回を最後の好機と捉え、単純な点数引き上げとして、理学療法士・作業療法士の処遇改善及び質の高いリハビリテーション確保の観点から要望を行った。

- ・令和 7 年度中華民国骨科医学会学術集会報告（令和 7 年 10 月 25・26 日）

長谷川理事長は、「Challenges of the Super-Aged Society in Japan – Focus on Locomotive Syndrome and Frailty -」と題し、英語による基調講演を行ったことを報告した。

- ・自由診療についての状況について

令和 7 年 10 月 15 日開催の日本臨床分科医会代表者会議において、整形外科では再生医療、保険適用外部位への注射、自費リハビリテーションなどが増加しており、自由診療が一定程度定着していることを説明した。混合診療の把握については、医会・学会には個別レセプト監査や直接的な監視権限はなく、研修等を通じたルールの周知および啓発が役割であることを明確にした。課題として、エビデンスと患者期待の乖離、インフォームド・コンセント、広告規制等を挙げ、JCOA が医療の質と倫理を重視する公益的団体である姿勢を示した。

- ・小児股関節撮影時における生殖腺遮蔽の推奨変更について

「運動器疾患 X 線撮影安全管理指針」における小児股関節撮影時の生殖腺遮蔽の推奨変更について、令和 7 年度第 4 回理事会での意見を踏まえ、会員が患者に説明するための解説を加えた文書を作成したことを報告した。

1 2、令和 7 年度第 2 回社会保険等検討委員会 12/22・WEB

神藤理事

委員会決議事項：

1. 第 39 回 JCOA 学術集会（兵庫）シンポジウムについて

シンポジウム名 「令和 8 年度診療報酬改定が整形外科診療にもたらすインパクト」

演題・演者

- ・ 令和 8 年度診療報酬改定の概要 神藤佳孝理事

委員会報告事項：

1. 令和 8 年度診療報酬改定要望に係る厚労省ヒアリング報告

- (1) 拡散型圧力波疼痛治療術

提出資料以上の質問はなく、議論は限定的であった。

- (2) 二次性骨折予防継続管理料：対象疾患の拡大

大腿骨近位部骨折に加え、脆弱性骨粗鬆症・椎体骨折への拡大と、外来骨粗鬆症患者へのリエゾン介入に対する評価の必要性を説明し、厚労省からは、臨床介入の実施状況、DPC 包括の問題、治療継続率評価が論点であるとの認識が示された。

- (3) 超音波骨折治療法の若年者下腿足部疲労骨折への適応拡大

神藤佳孝理事は、若年者（20～22 歳程度）の下腿足部疲労骨折に限定した要望であることを説明し、厚労省からは、症例数やエビデンスの規模、医学雑誌掲載実績が課題として指摘された。

- (4) 二次性骨折予防継続管理料 2：算定施設案件の緩和

有床診療所が回復期機能を担う地域実態を説明し、結果待ちの状況である。

- (5) 今後の課題について

今回のヒアリングを終了し、事前準備の充実、補足資料作成、予演会実施の必要性が課題。

2. 令和8年度診療報酬改定の医療技術評価分科会の進行状況

第1回医療技術評価分科会での整形外科関連要望項目の通過率は全体で約88%であった。

拡散型圧力波疼痛治療術は未通過であったが、ロコモ・フレイル指導管理料等は通過している。

3. 令和7年度JCOA保険審査委員会議（令和7年9月6日、品川プリンスホテル）報告

- ・ラジオ波焼灼療法や体外衝撃波疼痛治療術に関する審査上の留意点が報告された。
- ・合同講演では、厚労省・木下栄作参事官より医療DX政策について講演があった。

1 3、第8回JCOA災害医療チーム研修会 1/25 東京・WEB 神藤理事

【第1部】座長：JCOA災害医療チーム検討委員会担当理事 神藤 佳孝 青木 航洋

2025年 台風15号による電力設備の被害と復1日への取り組み

中部電カパワーグリッド株式会社静岡支社副支社長 柳生 嘉之 様

災害激甚化の地域社会で防災を考える 想像力の欠如に陥らない防災"

静岡大学防災総合センター客員教授 岩園 孝仁 先生

【第2部】座長：日本臨床整形外科学会副理事長 河村 英徳

阪神。淡路大震災の教訓を未来へ～神戸での新たな取り組み～

JCOA災害医療チーム検討委員会委員 中神 祐介

災害医療におけるクラッシュ症候群対応と整形外科医の役割

国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局 DMAT事務局国際対策課

大場 次郎 先生

1 4、SICOT2026（京都）参加依頼 神藤理事

本年9月29日（火）～10月1日（木）の間、国立京都国際会館にて開催

46th SICOT Orthopaedic World Congress の早期参加登録が開始、48年ぶりとなる京都開催となり、日整会会員限定の特別価格にて参加できる。

1 5、日本整形外科学会100年記念 全国市民公開講座 ポスターの送付について 神藤理事

日本整形外科学会は本年2026年に創立100周年を迎え、来る11月28日（土）または11月29日（日）（予備日11月23日〔月祝〕）に「日本整形外科学会100年記念全国市民公開講座」を開催。市民の皆さまへ周知するためのポスターを制作し、貴施設へ来院される方々にご来場いただけるよう、適切な場所に掲示をお願いいたします。

1 6、令和7年度第6回日本整形外科学会理事会 11/20・東京 神藤理事

JCOAからは寺門 淳（副理事長）、神藤佳孝（理事）が参加

決議事項

1. 第1号議案 医学教育委員会の設置及び委員委嘱の件 全員一致でこれを承認可決した。
2. 第2号議案 令和7年度奨励賞選考結果及び会告案の承認の件

報告・審議事項

- ・特別名誉会員（仮称）の件
- ・100年史印刷部数の件
- ・専門医試験問題の著作権、委員会における課題と今後の取り組みの件

専門医試験問題の外部利用に関するガイドライン及び専門医試験委員会委員の著作権が日整会へ帰属することを明記した誓約書（案）について理事会に諮られ、原案のとおり承諾した。

- ・ドラッグ・ロス調査追加報告（ヒドロキシクロロキン）

神藤佳孝理事から、資料 18 に基づき厚労省から依頼のあったアンケート調査に回答品目としてヒドロキシクロロキン（Hydroxychloroquine）を提出したことが報告された。

- ・日整会 100 年プロジェクト実行会議

- ・WEB サイト開設のご提案 として、一般市民を対象とした新たな PR サイトを製作する。
- ・SICOT2026 参加費について
- ・第 99 回日整会学術集会の参加

創立 100 年という一連の流れの中で第 99 回日整会学術集会及び SICOT2026 で日整会 100 年の歩みに関する展示物があるべきとして、既存のコンテンツを利用して展示することが承諾された。

17、令和 7 年度第 7 回日本整形外科学会理事会 12/18・東京 神藤理事

報告・審議事項

- ・令和 7 年度社会保険等委員会（第 3 回 11/17）

自家培養軟骨「ジャック®」の変形性膝関節症への保険適応の拡大について検討

- ・スイッチ OTC 化医薬品の候補成分に関する評価検討委員会報告（11/21）

寺門 淳副理事長が厚生労働省の医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議に参加し、セレコキシブ及び S-フルルビプロフェン貼付剤（ロコアテープ）のスイッチ OTC 化について意見を述べたことが報告された。

- ・運動器の健康を増進させ健康寿命を延伸させる議員連盟総会（12/3）

- ・SaMD/non-SaMD 関連ワーキンググループ設立提案

神藤佳孝理事から、資料 10 に基づき医薬・医療機器評価委員会内に、SaMD（Software as a Medical Device）及び Non-SaMD に関するワーキンググループの設置することについて理事会に諮られた。理事会で意見を交わした結果、ワーキンググループの設置を承諾した。

- ・インプラント抜釘における不具合に関するメーカー各社への調査依頼

神藤佳孝理事から、資料 13 に基づきメーカー各社への調査について理事会に諮られた。理事会で意見を交わした結果、調査を承諾した。

- ・広範脊柱管狭窄症の診断基準の学会承認について

18、令和 7 年度第 8 回日本整形外科学会理事会 1/15・東京 神藤理事

報告・審議事項

- ・SICOT2026（京都）支援金の拠出について

- ・寺門 淳副理事長から、中央社会保険医療協議会に骨密度測定の算定間隔に関する要望書を提出したことが報告された。

- ・寺門 淳副理事長から、資料 9 に基づき凍結療法機器 Visual-ICE の適応拡大の保険適用について中央社会保険医療協議会で承認されたことが報告された。

- ・神藤佳孝理事から、医薬・医療機器評価委員会内に、SaMD（Software as a Medical Device）及び Non-SaMD に関するワーキンググループのメンバーについて理事会に諮られ、承諾した。

- ・日整会 100 年プロジェクト実行会議（オブザーバー参加：中島康晴プロジェクトリーダー）
日整会 100 年のあゆみ展示を作成し、第 99 回日整会学術総会、SICOT2026 及び第 100 回日整会学術総会で展示することが報告された。
- ・「日本の歩き方神戸ポートアイランド版」とその後の計画
8,000 部制作する。コストと労力のバランスを考慮し、SICOT 英語版と第 100 回総会分の計 3 回制作に集約することが承諾された。

19、骨塩定量検査の算定要件の見直し

神藤理事

- ・令和 8 年診療報酬改定骨塩定量検査についての交渉経過 理事長 長谷川利雄

本件に関する所見

- ・骨塩定量検査の実施件数が増加したことが、算定要件見直し議論の一因となった可能性がある。
2025 年骨粗鬆症診療ガイドラインが不適切に利用されたことも背景として考えられ、今後、ガイドライン策定に際しては日整会および骨粗鬆症学会に対し同様の問題が生じないように慎重対応を求める予定である。
- ・今回の反論を受け、骨塩定量検査に関する「留意追加事項」が新たに付記されたのではないか

【I11-1 患者にとって安心、安全に医療を受けられるための体制の評価―⑩】

⑩骨塩定量検査の算定要件の見直し

第 1 基本的な考え方

関係学会における骨粗鬆症の治療管理での骨塩定量検査の位置付けを踏まえ、算定回数を見直す。

第 2 具体的な内容

骨塩定量検査について、急激な骨減少又は増加をきたす病態や薬剤の投与時を除き、算定回数を 4 月に 1 回から 1 年に 1 回とする。

改定案 【ID217 骨塩定量検査】

〔算定要件〕注 患者 1 人につき 1 年に 1 回に限り算定する。ただし骨粗鬆症の治療を開始した日から起算して 1 年以内の場合には、患者 1 人につき 4 月に 1 回に限り算定する。

〔留意事項通知〕(1)骨塩定量検査は、骨粗鬆症の診断又はその経過観察を行った場合であつて、以下のアからカのいずれかに該当する患者については 4 月 1 回に限り、その他の患者については 1 年に 1 回に限り算定する。

ア 骨粗鬆症の治療を開始した日から起算して 1 年以内の場合

イ 新たに骨折した場合

ウ 関係学会のガイドラインで示されている骨折危険因子が新規に増えた場合

エ ビスホスホネート薬治療の中断を検討する場合

オ グルココルチコイド、アロマターゼ阻害薬、抗アンドロゲン薬、骨形成促進剤等、骨減少又は骨増加をきたす薬剤を投与する場合

カ 吸収不良、全身性炎症性疾患、長期不動、人工閉経等、骨減少又は骨増加をきたす私感などを有する場合。

20、令和 7 年度医療システム委員会 2/8 東京

宮崎理事

【理事会審議付帯事項】

- ・小冊子「鍼灸院ってどんなところ？」について、北村拓也理事が坂東司朗顧問弁護士に参考資料を添付して法的検討を依頼しているが、返答後理事会に上程 することとした。

【協議・検討事項】

1. 「医師のための保険診療基礎知識～医業類似行為 Q&A」改定について

出典、根拠法令の明示、確認が済み次第、理事会に上程し、その後 JOA 広報・渉外委員会と協議し、JOA の顧問弁護士によるリーガルチェックが行われた後に改訂版が発行となる予定。

2. 理事長諮問事項の答申作成について、各担当者に対する確認が行われ、以下のように決定。

- ・ 厚労省の療養費検討委員会委員との連携 松本光司委員
- ・ 医業類似行為有害事象、事例を収集し社会へ啓発する方策の検討 宮崎浩副委員長
- ・ 代替医療、統合医療の研究、現象の把握と対策 鬼川温委員
- ・ あはきの受領委任払い導入後の影響の検討 三輪雅彦副委員長
- ・ 柔整師の卒後研修制度の影響と問題点の整理 小野直司アドバイザー
- ・ スクールトレーナー制度についての検討 名越充委員

3. 第 39 回日本臨床整形外科学会学術集会シンポジウム企画

兵庫で行われる JCOA 学術集会のシンポジウムとして、第 100 回日整会学術集会シンポジウム企画として本委員会が提出し推薦に至らなかった「知っておくべき接骨院、あんま、鍼灸問題 Q&A - 日常診療での対処法」を、日整会広報渉外委員会からの演題を除く形で実施する予定。

シンポジウム名：知っておくべき接骨院、あんま、鍼灸問題 Q&A—日常診療での対処法

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1 接骨院、あんま、鍼灸の守備範囲 | 松本光司 |
| 2 あんま、鍼灸療養費用同意書に関する適切な判断と対応 | 名越 充 |
| 3 接骨院、あんま、鍼灸への同意書責任 | 吉田政史 |
| 4 接骨院、あんま、鍼灸による健康被害 | 宮崎浩 |
| 5 JCOA 医療システム委員会のこれまでの活動、実績報告 | 相原忠彦 |

2 1、令和 7 年度医療システム委員会・渉外委員会合同委員会 2/8・東京 宮崎理事

【報告事項】

1.NHK 朝のニュース「子どもの首・肩に“異変”」

令和 7 年 11 月 7 日の NHK 朝のニュースで柔道整復師に取材しており、子供の運動器不調をまず接骨院に相談するという誤解を与えかねない構成であった。医療システム委員会として理事長名で NHK 会長宛に意見書を送付したが、現在まで返事がない状況であること、過去にも NHK は同様の問題を起こしていることを報告した。再度 JCOA から意見書を送付する予定である。

2.第 100 回日整会学術総会シンポジウム企画

医療システム委員会からシンポジウムの提案を行ったが、JOA 大江理事の協力を得たにも関わらず不採用であったこと、引き続き来年度も同様の企画を提案していく予定。

3.令和 7 年度 JCOA シンポジウム

令和 7 年 11 月 9 日に「療養費はだれのため？～その支払いは正当ですか？～」をテーマに開催。

柔道整復師の施術対象は急性外傷に限られるが、実際には慢性疾患に対しても外傷の病名が捏造れ、不正請求が行われている現状があること、整形外科医、柔道整復療養費審査委員、保険者、内科医からの発表により、医業類似行為による健康被害や不正な療養費請求をなくすこと、について討論。

4. 「ひじの故障防げ 小中学生球児 180 人に「野球ひじ」の検診」

令和 8 年 1 月 13 日の朝日新聞に上記タイトルの記事が掲載され、柔道整復師がエコーを用いて肘の異常の有無を確認したとの記載。JCOA の顧問弁護士に対し以前問い合わせを行い、柔道整復師が超音波検査の読影、説明を行うことは身体に危険を生じさせる事態が起こりうるため適切ではないとの意見が示されていることを報告した。

5. 日本フルハップ診断書（医師と柔道整復師共用診断書）について

会員には医師用の診断書を送ってもらうよう依頼するか、もしくは JCOA ホームページから医師用診断書をダウンロードして対応するように通知している。

6. 南江堂問題の全容と角南論文

平成 9 年に角南アドバイザーが南江堂から論文の依頼を受け、医業類似行為についての論文を提示したところ、掲載を拒否された事件があった。拒否理由は、柔道整復師は国が認めた資格であり、教育と試験を受けていること、日本には職業選択の自由があり柔道整復師に対して非常に厳しい批判はできないというものであった。長谷川理事長は雑誌「整形災害外科」から依頼を受け、「整形外科のテリトリー」と題し、柔整問題を含めた整形外科の境界領域について広い意味で問題提起した文章を「整形災害外科」第 68 巻第 7 号 6 月号 personal view に掲載したことを報告した。

7. 【ノバルティス健保】柔整審査請求の事例紹介

骨折と診断された患者が整形外科医師の指示により接骨院で施術を開始し、保険者は「医科との併給」の理由で健康保険法第 87 条に基づき不支給決定。関東信越厚生局は整形外科医師が柔道整復師に施術の同意を与えた記録があり治療行為の重複が確認できないとして不支給処分を取り消した。

8. 柔道整復師卒後研修について

平成 29 年より接骨院における施術管理者になるためには研修受講と 3 年間の実務経験が必要となり、3 年間の実務経験のうち 2 年間は医療機関での勤務を認めるとされている。柔道整復を知らない医師が柔道整復師を指導できるはずがなく、財団法人柔道整復研修試験財団が多くの医療機関を研修協力機関として公表しているが実際の研修内容が不明である。医療システム委員会が、医療機関における柔道整復師卒後研修の実態調査のためのアンケート実施を計画していることを報告した。

2 2、令和 7 年度 OCOA 研修会実施報告

宮崎副会長

第 378 回大阪臨床整形外科医会研修会（令和 7 年 9 月 27 日 共催 第一三共）

参加者数 85 名（会員 70 名 非会員 15 名）

日整会 単位申請 68 名 日医 単位申請 28 名 日本リウマチ学会 単位申請 11 名

日本リハビリテーション医学会 単位申請 6 名 日本骨粗鬆症学会 単位申請 4 名

第 379 回大阪臨床整形外科医会研修会（令和 7 年 10 月 18 日 共催 帝人ヘルスケア）

参加者数 78 名（会員 67 名 非会員 11 名）

日整会 単位申請 61 名 日医 単位申請 19 名 日本リウマチ学会 単位申請 12 名

日本リウマチ財団 単位申請 2 名 日本骨粗鬆症学会 単位申請 3 名

日本リハビリテーション医学会 単位申請 5 名

第 380 回大阪臨床整形外科医会研修会（令和 7 年 11 月 15 日 共催 久光製薬）

参加者数 82 名（会員 68 名 非会員 14 名）

日整会 単位申請 63 名 日医 単位申請 53 名 日本リウマチ学会 単位申請 14 名

日本リハビリテーション医学会 単位申請 4 名

第 1 回大阪臨床整形外科医会産業医研修会（令和 8 年 1 月 31 日）

参加者数 58 名（会員 44 名 非会員 14 名）

日医産業医 単位申請 41 名（要完全受講。部分参加は不可）

日整会 単位申請 34 名

日医 単位申請 52 名

※ 大阪府女医会と豊中市医師会の産業医研修会が同日にあったため、参加者が少なかった。

23、その他

宮田理事より

1、OCOA ホームページに、OCOA 承継システムを掲載した。

会員から承継希望の登録が 25 件来ている。

OCOA 承継システムを同門の先生方に周知して欲しと要望があった。

2、セラピスト研修会のシラバス改訂第 6 版の件で、物理療法機器についてのアンケートを実施するので、回答願いたい。

この議事録は、

定款第 40 条の規定に従い、代表理事及び出席監事が記名、押印する。

令和 8 年 3 月 7 日

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

議長 会長

貴島 浩二



監 事

黒田 晃司



監 事

前中 孝文

